

概要

日本工業大学金型人材教育に見る
スキルアップ事例

高度金型人材育成講座

日本工業大学専門職大学院 小田恭市*、筒井研多**



■活きた設計ノウハウを伝授

周知のとおり、国内のプレスやプラスチックの成形・組立工場の新興国などへの海外展開によって、国内における金型に関する需要量は大きく減少している。また、新興国等の金型を手がける企業はICT（情報通信技術）を活用して金型設計、製作技術が飛躍的に向上させている。そのため、日本の金型を手がける中小企業はグローバル化への対応とともに、海外の競合企業と差別化できる競争力強化が課題となっている。一方、国内の大手企業の新製品・新技術開発に伴う試作品開発に求められる金型ニーズ、燃料電池など新エネルギーや医療などの新成長分野における金型ニーズへの対応が課題となっている。

こうした金型を取り巻く環境変化の中で、日本の金型を手掛ける中小企業の技術力向上を担う金型設計・製作技術者の育成のため、日本工業大学では、2008～2010年度（平成20～22年度）の3年間にわたり経済産業省の産学連携パートナーシップ事業の支援を受けて、高度金型人材育成のための教育カリキュラムの開発を進めてきた。

この成果を活用して、本学では、2011年度より本学に金型教育事業部を設け、開発したカリキュラムを「高度金型人材育成講座」として、モノ

づくり企業の社員のOff-JT向けに開講している。本講座は、高度金型技術者の育成を目指して、金型に関する基盤的技術力を身につける「金型入門・基礎ユニット(U1)」および「金型実践ユニット(U2)」、高度金型を手がけるための人・組織・金・技術をマネジメントできる力を身につける「金型マネジメントユニット(U3)」の3ユニット・6コースで構成している。

本講座の講義を担当する講師は、長年、モノづくりの現場で活躍された技術士や大手企業の技術部門・生産管理部門のOBの方々である。彼らが半生をかけて培った、「活きた設計ノウハウ」をオリジナルテキストとして、モノづくりの今後を担う技術者候補生を入門レベルから応用・発展レベルまで講義、演習などを通じトータルで指導していく（写真1）。



写真1 金型を熟知したベテラン講師陣が日本のモノづくりを伝授する

*（おだ きょういち）：技術経営研究科 教授
金型教育事業部事業部長

**（つつい けんた）：金型教育事業部

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 2-5

TEL：03-3511-7591 FAX：03-3511-7594